



年頭のご挨拶

多摩丘陵病院 理事長 掛川暉夫

たまきゅう便り

発行
多摩丘陵病院
広報委員会
町田市下小山田町
1491

新年明けましてお目出度う御座います。本年（令和2年）は2000有余年間に培われた大和心を基盤に発展、先進国の雄と成っている科学の粋が凝集した姿と独特の心「おもてなし文化」の物心両面が溢れている日本社会を遍く全世界に披露する事にもなる「オリンピック」が東京で開催される我が国に取って記念すべき年であると同時に、我が病院に於いても新病院建設着手を確実なものとする極めて重要かつ意義深い年であります。改めて職員御一同の益々の御健闘、御活躍を期待お願申し上げます。

さて昨年の忘年会で光崎会長が述べられた事を私なりに要約すると、世界的に高度成長期は終わり、かつて世界優秀企業top tenに常に数多く名を連ねて居た我が国に変わりは少子高齢、人口減少に見舞われG、D、P、低下等に起因する不況時代到来が十分予知出来ると述べられました。斯かる状況下病院経営はマンパワーを最も必要とするサービス業、所謂第3次産業の代表的職業です。従ってより良い医療を行う為には優秀なマンパワーが必須条件で、その為人件費の高騰は抑制出来ない。しかるに光崎会長は病院の方向性をコストパフォーマンス重視の経営体制の強化、再構築を目標にとも話されました。人手のかかる第3次産業の主軸である病院経営と人件費抑制を主とするコストパフォーマンス策の両者は一見相反し、矛盾するように見える。良い診療をと優秀な人材、マンパワーを増やせばコストパフォーマンス堅持に反する事必至となる。そこで安易に安い人件費を求め人材を海外に求めれば院内の医療環境等に混乱、不協和音を招くであろう事想像するに如くなしである。医療の本質を崩さず、患者の心身両面に血の通った（人の手で）暖かい医療を行いながらコストパフォーマンスを健全に維持できる良策有りや、否やが強く問はれる所以である。そこで思い起すのは機会ある毎に会長が口にされて居られる「A、I」発言である。此の貴重な発言主旨を私なりに斟酌し以下の如く提案したい。適正な有能少数数集団下、「A、I」導入、活用で人による無駄な労力を極力避ける以外に両者を満足させる良策は見当たらないと。勿論「A、I」利用と言っても莫大な費用、精密な知識を要する宇宙開発や自動自動車開発と云う様な事を企画、計画、導入すべきと願っているのではなく、日常の病院勤務生活の中で人力に依る無駄な労力を省き、A、I利用を探し出す知恵の出現を望むのである。併し

「A、I」の有効利用法は私如き老人でなく若い職員らのエリヤ、専任事項であり、従って彼等による有効利用しか病院健全経営の未来は無いものと痛感する。幸いにも我が病院は現在新病院建設の好機に立って居り、頃良く新病院全体のハード面の大枠、配分が固まりつつあり、ソフト面が検討される時期である。今こそ従来型の箱物重点、パフォーマンスによる企画、設計で無く、人的資源を極力避けたコストパフォーマンスを考えた「A、I」構想活用のお番到来、即ちこれに精通した若い諸兄等のお番到来と考えるべきと。そこで私から強い要望が有ります。

現在ある「ロボット」委員会を仮称「A、I」委員会に拡大、発展、充実させ更に精通した人達を院外からも求め広く人材を網羅、構成し、新病院建設にA、I導入、利用の試金石とし、忌憚なき意見具申が出る様配慮すべきと。

否応無くこれから到来する人口減少、低成長時代マンパワーが必須条件である第3次産業の中で勝ち抜いていく為には「A、I」の積極的導入、有効活用が例え当初若干の資金オーバーを要しても将来のコストパフォーマンス堅持の要となると確信する。此れに精通した職員諸兄等の幅広い領域からの積極的、献身的意見具申導入、利用を重ねて強く熱望する次第である。最後に繰り返して強調するが、医療には優秀な人手が絶対に必要である。そこで無駄な人的労力は極力廃止し、少数精鋭集団で良質医療、そして彼等に厚遇を、「A、I」合理的利用でコストパフォーマンス維持を、の二つを合言葉に病院組織全体に隈なく浸透、実現する一年となる事を要望し初頭の挨拶と致します。



インフルエンザが流行しています。気をつけましょう！

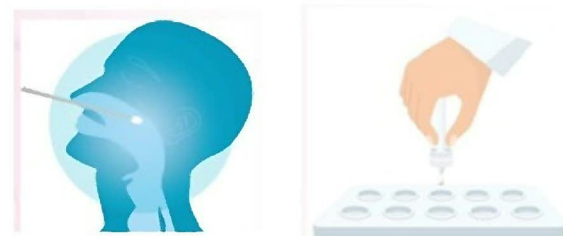
Q: 感染後の症状と経過は？

1～3日間の潜伏期間があり、高熱（微熱の場合あり）、倦怠感、関節、筋肉痛、頭痛、咽頭痛、咳、鼻水など出現。



Q: インフルエンザの検査方法は？

鼻腔の奥から鼻汁を採取し、迅速診断キットにより10分～20分ほどで結果が出ます。早すぎると陰性になります。



Q: 薬と安静で良くなった。薬をやめて出勤してよい？

ウイルスは発症後5日間排出します。薬は飲みきって下さい。学校は発症翌日～5日間（かつ解熱後2日間）休学です。



Q: 予防方法は？

- ・インフルエンザワクチンの接種
- ・外出後の手洗い
- ・適度な湿度の保持
- ・十分な休養とバランスの取れた食事
- ・人込みや繁華街への外出を控える



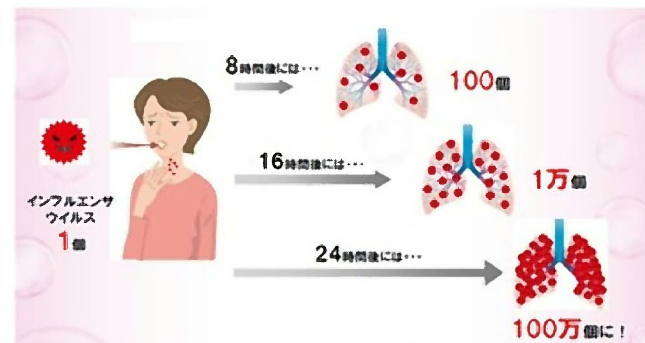
Q: 周囲にうつさないようにするには？

- ・薬を確実に服用しウイルスを増殖させない
- ・安静・水分補給に努める
- ・外出を控える
- ・マスクを着用（拡散させない）
- ・手洗いをする
- ・咳エチケットを励行する



Q: インフルエンザウイルスの増殖程度は？

ウイルスは上気道から感染し、上気道・肺で増殖します。24時間には100万個にもなります。



Q: 薬は早めに飲んだ方がよい？

抗インフルエンザ薬はウイルスの増殖を抑制する薬です。48時間以内に服用を開始します。



Q: どのように他人に感染するの？

咳・くしゃみの飛沫による感染、鼻汁などがついた手で触れることによる間接的な感染があります。



Q: 感染対策の相談はどうすれば？

毎週木曜日の午前中に、総合案内のコーナーで相談を受け付けております（無料）。他の曜日でもお気軽にお声をかけてください。

感染対策相談
担当：感染管理認定看護師

- ・各種カテーテル、傷の感染対策
- ・インフルエンザ、ノロウイルス対策
- ・その他、感染症や感染対策に関する相談



看護相談の予定日と内容

	月	火	水	木	金
AM	骨粗鬆症 看護相談	飲み込み 看護相談	物忘れ 看護相談	感染対策 看護相談	糖尿病 看護相談

第3回地域交流まつり

2019年10月19日（土）当院駐車場において、『第3回多摩丘陵病院地域交流まつり』を開催しました。前日まで雨の影響で当日は天候が心配されていましたが、なんとか天候も回復し雨も上がり、多くの地域の皆さんにご来場いただきました。ステージ上では桜美林学園様のエイサーや、上根神社・白山神社のお囃子グループ様のお囃子、各種ミニコンサートを行い、また地元企業様等からはキッチンカーを始めとする数多くの出店を頂き、来場された方々に楽しんで頂きました。その他にも昨年同様、町田警察署「ピーポーくん」の来場と町田消防車「消防車両」を展示し、記念撮影実施等会場を大いに盛り上げてくれました！

当院では引き続き地域の皆さんの健康を守る為に、地域に寄り添った医療サービスの提供とその情報発信を継続していくよう地域との交流を大切にしていきたいと思います。

多摩丘陵病院 広報委員会



鈴木委員長の開会挨拶



上根・白山神社のお囃子連のお囃子



当院職員によるAED使用の寸劇



ジュエによるテニス体験



ピーポーくんと町田消防署消防車の乗車体験



桜美林大学によるエイサー

第7回健康講座 糖尿病と検査

2019年11月21日（木）当院南棟1階会議室において、『第7回健康講座』を開催しました。

今回は『糖尿病と検査』をテーマとし、当院検査科 坂口真澄臨床検査技師と和田聖史臨床検査技師が講演を行いました。講座には近隣住民の方、福祉施設様等各方面から40名を超える方々の参加がありました。

ご参加頂いた方からは

- ・非常にわかりやすい説明でよく理解できた。
- ・糖尿病の恐ろしさ、検査の重要性がよくわかりました。
- ・このような場を設けて頂くことは、病院との距離感が短く感じられ、好感を持ちました。

等の声があり、盛況のうちに終了致しました。

